

# 次期京都市基本計画検討資料

## 政策分野 <農林業>

### 1 序

1－1 これまでの主な取組 1P

### 2 次期京都市基本計画策定に向けた論点

2－1 現状分析 4P

2－2 政策の基本方向 9P

2－3 市民と行政の役割分担と共汗 10P

2－4 10年後に目指すべき姿 11P

## 1-1 これまでの主な取組

### ① 環境に優しい農林業の持続的発展

- ・安全で環境負荷の少ない栄養価の高い旬の地場野菜の消費拡大により，市民の健康増進を図るため，栽培基準を満たす生産農家を認定登録し，品目ごとに旬の出荷時期を定め，その時期に出荷される野菜を「京の旬野菜」として認定し，生産者名，生産地区を表示して消費者の目に見える形で販売
- ・二酸化炭素吸収等森林の多面的機能の維持向上のため，実施区域の団地化と高性能林業機械による効率的な森林整備を推進

京の旬野菜推奨事業



森林総合整備事業(間伐対策)





## ②農林業の持つ多面的機能を生かしたまちづくり・ひとづくり

- ・農作業体験，農家と都市住民との交流活動，農作業を行う都市住民の育成等を通じて，都市住民との共住環境の改善を推進

未来の農業サポーター育成事業



間伐体験学習





③ 市民と築く農林業～市民と農林家のパートナーシップ～  
・ 農家、農業団体と市民が地域資源や環境を守る取組を推進

農地・水・環境保全向上対策



清流が育むアユのつかみ採り



## 2-1 現状分析

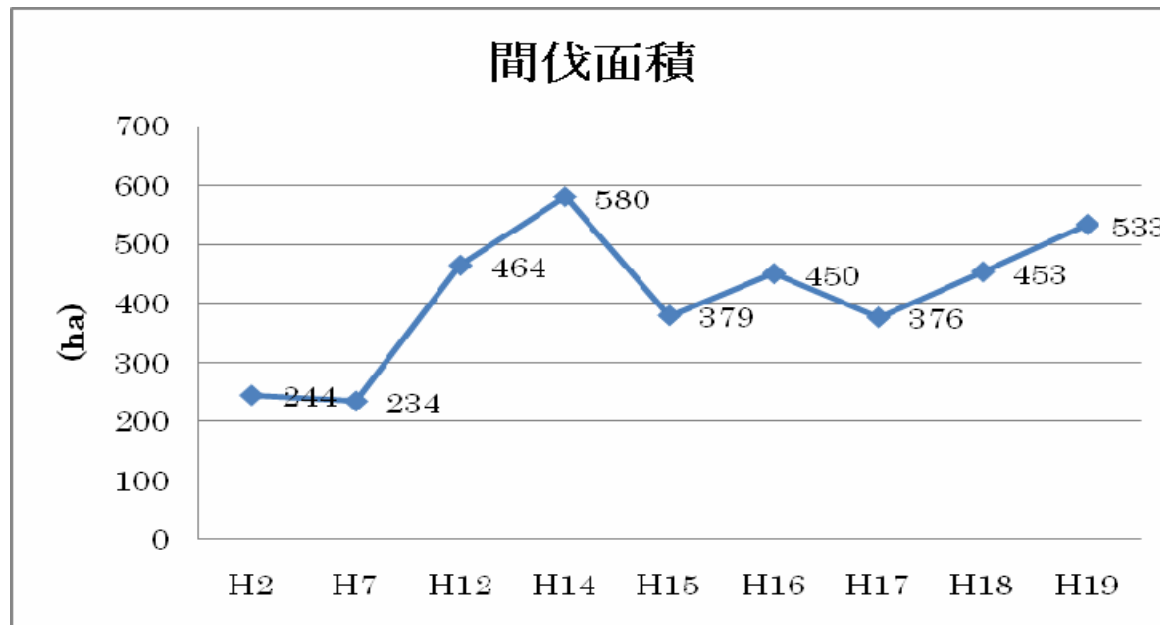
| 外部環境分析(施策を推進するうえで、追い風又は向かい風となる変化や社会的な状況)                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 追い風                                                                                                                                                                                                                   | 向かい風                                                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○食の安心・安全への観点から、地元産・国内産への注目の高まり</li> <li>○地球温暖化対策において、森林によるCO2の吸収源としての重要性の高まり</li> <li>○京北町との合併により、農林業及び関連資源が増加</li> <li>○景気の低迷による失業者の増加や労働に対する価値観の変化により、農林業への関心の高まり</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市化による農地減少</li> <li>○経費の負担増による価格競争力の低下</li> <li>○農業粗生産額、林業粗生産額共に減少</li> <li>○農林業従事者の高齢化</li> </ul>                                                                           |
| 京都の現況分析(他都市等と比較して、京都の現況が優位又は劣位である事項)                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                      |
| 京都の強み                                                                                                                                                                                                                 | 京都が解決・克服すべき課題                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○大消費地と生産場所が隣接しているので、鮮度が高い農産物の供給が可能。また、運搬経費の抑制も可能</li> <li>○市内産野菜の流通は、約3分の1が直売等であり生産者と消費者が近い関係</li> <li>○技術力に裏打ちされた、京野菜や北山スギなど京都ブランドがすでに認知済み</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○経営耕地面積が小規模で分散しているため、効率的な経営が困難</li> <li>○耕作放棄地等の増加による営農環境の悪化</li> <li>○作業道等が少ないため、効率的な林業経営が困難</li> <li>○野生鳥獣による農林産物被害の増加による営農意欲の低下</li> <li>○森林病虫害による景観の悪化・防災機能の低下</li> </ul> |



## ◆客観データ

追い風

➤地球温暖化対策において、森林によるCO<sub>2</sub>の吸収源としての重要性の高まり。



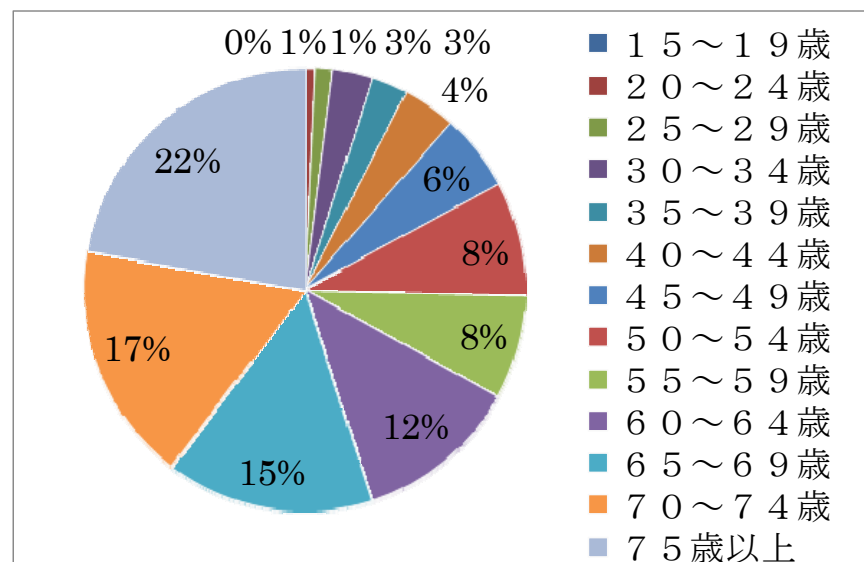


## ◆客観データ

向かい風

➤ 農林業従事者の高齢化。

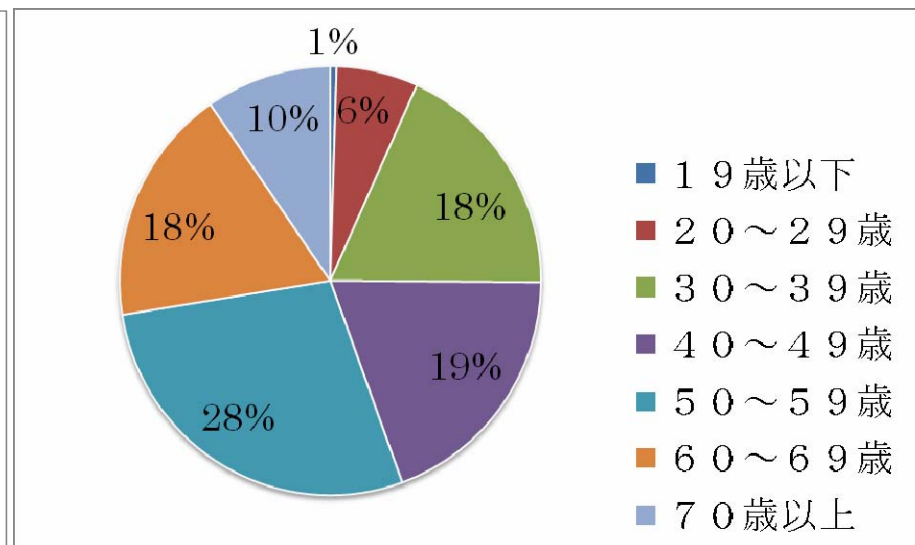
### 京都市基幹的農業従事者年齢別構成



(基幹的農業従事者：自営農業に主として従事した世帯員のうち仕事为主の世帯員数)

(2005年農林業センサス)

### 京都市林業労働者年齢別構成



(本資料での林業労働者とは、京都市内に住所を有し平成18年1月1日から12月31日までの1年間に30日以上林業労働に従事し、賃金の支払いを受けたものをいいます。)

(平成20年京都府林業統計)



## ◆客観データ

### 京都の強み

➤市内産野菜の流通は、約3分の1が直売等であり生産者と消費者が近い関係。

#### ● 市内産野菜の流通状況

| 出荷量      | 市中央卸売<br>市場 | 市内地方卸売<br>市場 | 直売等     | 市外出荷    |
|----------|-------------|--------------|---------|---------|
| 29,005 t | 10,066 t    | 5,926 t      | 9,719 t | 3,295 t |
| (100%)   | (34.7%)     | (20.4%)      | (32.5%) | (11.4%) |

(平成19年度数値, 京都市調べ)



## ◆客観データ

## 京都が解決・克服すべき課題

➤野生鳥獣による農林産物被害の増加による営農意欲の低下。

### ● 被害状況（鳥獣別農林作物被害額）

| 区 分  | H16       | H17       | H18       | H19       | H20       |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| イノシシ | 87,760千円  | 80,240千円  | 76,843千円  | 55,426千円  | 67,465千円  |
| シ カ  | 60,002千円  | 16,615千円  | 48,156千円  | 40,016千円  | 98,155千円  |
| サ ル  | 6,595千円   | 15,250千円  | 34,108千円  | 33,005千円  | 51,805千円  |
| その他  | 17,418千円  | 33,176千円  | 11,944千円  | 29,539千円  | 22,918千円  |
| 合計   | 171,775千円 | 145,281千円 | 171,051千円 | 157,986千円 | 240,343千円 |

\* 農林水産省生産局長通知（平成19年9月26日）により、農作物の被害状況については、平成20年度から捕獲許可対象被害（現地調査を行ったもの）以外に、従来被害通報されなかった各戸農家の被害も農家組合等を通じを集約することとなった。



## 2-2 政策の基本方向

◇ 今後10年間の基本的考え、価値観は？

＜検討の視点＞

- ① 産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成
- ② 農林業と他産業との連携
- ③ 地産地消の推進
- ④ 環境を創造する農林業の推進
- ⑤ 観光や文化等農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりの推進
- ⑥ 市民との共汗で作る農林業
- ⑦ モデルフォレスト運動と連携した市民参加の森づくりの推進
- ⑧ 教育と食・農林との連携

＜政策策定の3本柱＞

- 1. 産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成
- 2. 環境や社会に貢献できる農林業の育成
- 3. 市民との共汗で築く農林業

## 2－3市民と行政の役割分担と共汗

### ＜本市の事例＞

#### ・農地・水・環境保全向上対策

市民が農地・農業用水路等を守る農業団体等とともに，米や野菜を生産する農地や農地に水を供給する農業用水路等の役割を現地で体験する取組等を推進

#### ・市民と耕す農業支援事業

市民が清掃活動に加えて農道沿いに不法投棄防止柵を設置し，荒廃した竹林の再生する取組を推進

#### ・京都伝統文化の森推進事業

東山国有林を対象として民間団体や市民参画による健全な森林環境の保全や美しい森林景観の整備に取り組む「京都伝統文化の森推進協議会」の活動を市街地周辺三山の民有林まで拡大し，絆の里山整備事業と連携した市民参画による森づくりを推進

## **2-4 10年後に目指すべき姿**

◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状態を測る指標・目標値は？

### ◆分野別計画で用いている指標

| 指標             | 目標値<br>(平成31年度) | 基準数値       | 備考                             |
|----------------|-----------------|------------|--------------------------------|
| 法認定農業者（人）      | 2 5 0           | 1 5 8      | 概ね年間400万円以上の所得を目指し効率的な経営を営む農業者 |
| 林業労働者（人）       | 3 5 0           | 2 2 4      | 年間30日以上従事                      |
| 素材生産量(m3)      | 4 5, 0 0 0      | 3 1, 5 7 1 | 一般木材の生産量                       |
| 磨丸太生産量(本)      | 4 6, 0 0 0      | 4 5, 5 0 0 |                                |
| 京の旬野菜認定農家数（戸）  | 7 5 0           | 6 5 7      | 京都市が認定する旬野菜生産農家                |
| 間伐面積（ha）       | 1, 0 0 0        | 5 3 3      | スギやヒノキの人工林における間伐面積             |
| 林道・作業道密度（m/ha） | 1 6             | 1 3        |                                |
| 市民農園区画数（区画）    | 5, 0 0 0        | 3, 8 2 5   |                                |
| 「京の旬野菜」供給量（t）  | 1 1, 0 0 0      | 9, 6 5 7   |                                |
| 農業粗生産額（百万円）    | 1 8, 0 0 0      | 1 6, 3 0 7 | 粗生産額＝生産数量×販売価格                 |
| 林業粗生産額（百万円）    | 9 5 0           | 7 0 7      | 粗生産額＝生産数量×販売価格                 |